

平成26年度 障害者支援センター「よつばの里」

事業報告書

施設の概要

事業所名	障害者支援センター 「よつばの里」	管理者氏名	阿部博美
		サービス管理責任者	長谷川恵美
事業所の所在地	〒997-0034 鶴岡市本町三丁目2-5	電話番号	0235-24-4282
		FAX番号	0235-24-4283
事業所区分	障害福祉サービス	事業開始年月日	平成19年4月1日
		指定有効期間	平成25年3月29日 平成31年3月28日
事業所番号	0610300410	利用定員	25名
サービスの種類	就労継続支援B型	今年度平均利用者数	22.5人/日

はじめに

障害者支援センター「よつばの里」就労継続支援B型事業は、利用者本位のサービス提供の原則に則り、利用者の「自立と社会参加の支援」に取り組んで参りました。利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるように、個々にアセスメントを行い、個別支援計画を作成し、また、サービス等利用計画に合わせた就労訓練・日常生活・社会活動の支援に、取り組んでまいりました。

利用者、家族のニーズは多様化であり、当施設の特徴である、3障害それぞれに対応した支援のありかたについては、私たち職員が、専門職としてより多くの知識と経験を身につけることが必須であります。また、利用者、家族との連携が重要な要と思います。更に、地域の他施設や医療機関、専門職との連携はもちろんのこと、ボランティアや市民活動、行政、企業など外部とのネットワークづくりが、今後ますます利用者の自立、社会参加、地域生活支援に欠かせない大切なことと考えております。

本年度の就労支援事業として、

パソコン事業では、当法人各事業所の文章作成や職員の名刺作成、案内状作成および施設行事のチラシ作成を主におこないました。

また、会報「よつばの里だより」をパソコン担当利用者様2人が役割分担し作成しております。今年度は、名刺印刷の依頼が前年を上回ることもできず、点字入れ名刺についても、大口依頼がなくなり、収入が激減しています。

- 軽作業は、箱折りと袋のひも通しを主に、くるみの実を取る作業、工業用ブラシ加工を行っております。また、新規作業として、自動車部品のケーブル組立てを受託することができました。

しかし、従来からの受託作業の量は減少傾向にあります。

- ・ 5年経過しました共生ホーム「よつばの里」の清掃・利用者のお世話・リネン交換などは、担当するご利用者の作業内容にも向上が見られ、また、作業習得された利用も増えて、自信を持つ事に繋がり、日々の活動に積極性が見られ、精神的な不穏や不安定さが減少して、欠席回数
の減少に繋がっております。
- ・ 「フォーラムカフェ クルール」(アートフォーラム内)の運営は、平成24年度より土日祝祭
日の他、催事がある平日営業が開始され2年目を迎えることができました。喫茶作業に参加で
きる利用者が増え、工賃増加に繋がりました。参加利用者の各自が努力し、接客業務も向上し
ており、アビリンピック参加を目標に活動されました。
- ・ 商品販売は、ハートクッキー・動物クッキーで、クルールでの販売、JA産直販売所3箇所と
平田町産直センターに納品を行いました。
特に平田町産直センターからの注文が多く、利用者が納品に同行しております。
- ・ 切手・印紙販売は、金融機関、法律税務事務所関係の事業所より注文いただき、期日に遅れる
ことなく配達することができました。今年度は法人役員のご協力ご支援を賜り、鶴岡信用金庫
様より継続的にご注文をいただきました。
- ・ 平成26年度の支払工賃実績は、5,329円/月額・271円/日額・70円/時間額でした。
工賃支払総額1,518,707円、工賃支払延べ利用者数285人。
年度初めに目標としました、5,000円/月を上回ることができました。

社会参加と余暇活動については、市内施設見学、一般の方々と一緒に食事を取り、マナーを学ぶ
「昼食会」を行い、施設内では、協調性や共同作業を求められる調理行事などを行いました。
利用者同士の親睦を更に深めると同時に、日常生活に必要な知識を学ぶ時間として2ヶ月から3ヶ
月の頻度で行いました。

また、聴覚障害の利用者自身の手話への理解と、他の利用者とのコミュニケーションの手段を目的
に今年度も手話講座を開催しました。

鶴岡市総合保健福祉センター「にこ・ふる」障害者相談支援センター所属の手話通訳者の講師の方
より、手話サークル様に引継いでいただき、毎月1回、第三木曜日の13:30~14:15、手話と手話
で歌う時間を持つことができ、利用者が積極的に楽しんで参加いたしました。

年末には法人の「年忘れワイワイパーティー」に参加し、デイサービスのご利用者職員の出し
物を楽しみ、おいしい料理やカラオケで楽しみました。

今年も「温泉で新年会」を行い、温泉に入り豪華なお膳とカラオケ等で楽しんだ他、ゲームも企
画され、お酒も飲みながら楽しい一時を過ごしました。

その他、本三北部町内会とよつばの里との合同夏祭り、スポーツ大会への参加、ぶどう狩りと芋煮
会など季節行事に参加いたしました。

就労継続支援B型事業

(1) 目的

就労支援事業の生産活動その他の活動を通し、利用者の勤労意欲と知識および能力向上に努め、就労による経済的な自立を支援します。並びに、積極的に地域との交流や社会参加等促進するための支援を行います。

地域社会において自立した日常生活を営むことができるように支援を行います。

(2) 利用定員 25 名

(3) 職員定数 7 名 (うち 管理者1名 兼務 6名)

(4) 事業開始年月日 平成14年9月2日

(5) 利用者の処遇

利用者に対して、よりよい環境を整え、その能力をできる限り発揮することに留意し、社会参加の実現に努めました。

就労支援事業を通じて、仕事に対する関心と意欲を高め、さらに協調性を養い、利用者間の人間関係づくり等を行いました。

一般就労が可能と思われる利用者に対しては、作業の正確さ、速さ、丁寧な仕上がりを指導し、高度な作業過程を指導し、作業の段取り、作業態度、後片付け、言葉遣い、規則を守ること等を支援いたしました。

(6) 健康管理

利用者の健康管理に細心の注意を払い、健康管理センターでの健診を行い、さらに、家族と連携して、健康維持に努めました。

健康について、利用者自らが意識できるように、日々の生活の中で食事の摂り方やおやつのことなど、いろいろな場面で分かり易い説明を行いました。また、家族にも必要時に連絡を取り、自宅でも対応ができるよう努力いたしました。

さらに、感染防止対策として、毎日の作業前の検温、一日3回の手洗い、うがいを継続し行った結果、習慣化し、インフルエンザ・感染性の腸炎等の罹患者が発生することなく過ごすことができました。

感冒やインフルエンザ流行時は午前・午後の検温、こまめな水分補給、室内温度調整・湿度調整を行いました。

(7) 生活訓練

社会生活に必要な生活習慣を身につけていただけるように、日常の就労時間帯においても、自分から進んで「あいさつ」や「声かけ」ができるように指導、支援、身辺整理、

身だしなみ、生活態度、思いやりの心を養うこと、また、自立生活へむけての食事・栄養のとり方や、暖房器具の注意点、公的手続きの声かけ、支援を行いました。

(8) 防災

施設内における危険防止、火災防止に細心の注意を払い、また、通所、退所時の交通事故防止について注意を促しています。

避難訓練を他部門と合同に年2回（日中・夜間想定）行い、防災の意識を高めています。

(9) 広報活動

年4回（春・夏・秋・冬）の季刊誌で「よつばの里」だよりを他部門合同で発行を予定していましたが、今年度は3回のみでの発行となりました。

(10) 日課

時 間	内 容
午前 9時30分まで	通 所（各自公共機関利用・送迎利用）
午前 9時30分～午前 10時00分	手洗い、うがい、ラジオ体操、朝の会
午前 10時00分～午後12時00分	作業（10時50分～11時00分休憩）
午後12時00分～午後 1時00分	手洗い、うがい、昼食、休憩
午後 1時00分～午後 3時00分	作業（2時00分～2時10分休憩）
午後 3時00分～午後 3時10分	後片付け
午後 3時10分～午後 4時00分	手洗い、うがい、ティータイム、1日の反省
	帰宅（送迎）

(11) 事業項目

- ① パソコン事業
- ② 受託事業
- ③ 喫茶事業
- ④ 商品販売
- ⑤ 切手・印紙販売
- ⑥ 名刺点字入れ

(12) 事業内容

- ① 年間主要行事实績（別紙の通り）
- ② 利用者状況（別紙の通り）

③ 保健・安全

利用者の日々の健康状態を観察し、心身の状態を把握することに努め、体調変化の早期発見、治療につながるよう取り組んでいます。

- ・ 健康観察（血圧、脈拍、検温は必要時）
- ・ 服薬の確認（該当者）
- ・ 感染症対策としての手洗い・うがいの励行
- ・ 家庭との連携
- ・ 施設の環境整備、衛生面、安全面の確保
- ・ 食後の歯磨き・作業場の換気

④ 学習活動

手話教室で、聴覚障害の利用者さん自身の手話への理解と利用者同士のコミュニケーション拡大、個人の意欲向上、リハビリを目的に取り組みました。

調理を兼ねたレクリエーション（お好み焼き・たこやき・ホットケーキ）等、共同で作業を行う大切さ、お互いを思いやる気持ち、調理器具の使い方を学びました。

⑤ 参加活動

ハートフル文化祭など利用者全員が参加できる内容を考えるとともに、自分達がリーダーシップを取りながら交流できるように助言を行いました。

山形県障害者スポーツ大会（山形県総合運動公園）には、10名（指導員4名同行）、アビリンピックには、5名（指導員2名同行）が参加し頑張りました。

特にアビリンピックでは、就労支援事業として行っている喫茶部門に参加し、参加利用者さまが持つ能力を発揮する良い機会となり、同時に今後の活動に繋がる経験ができました。

⑥ 工賃について

利用者への工賃支払は納品後から入金までの期間を勘案し、実質2か月前の作業内容分のお支払になります。

⑦ その他

個人の意思を尊重し、提供する活動内容を強制することなく、自らの判断を重視しながら作業や日常生活を援助いたしました。

2から3か月一回の割合で、就労活動以外の季節に応じた余暇活動に取り組み、日常生活をより豊かにすること、生産活動の意欲向上のために各行事への参加、企画を行いました。

おわりに

パソコン、軽作業などの就労支援活動を中心に、利用者一人ひとりの自己決定、自己選択を大切にした活動に取り組んできました。職員もそれぞれの活動を強制することなく、利用者の気持ちを引き出しながら、また、安全、安心な環境を作り、働くことのよろこび、共に助け合うことのよろこびが就労へ繋がることと考え支援いたしました。

施設内作業場の清掃や後片付け、コップ洗い、昼食の準備や後片付けなど日常生活に必要な訓練を重ねることで利用者一人ひとりの生活能力が向上し、状況を判断して行動できる事が多くなり、今後も継続し支援を行いたいと思います。

作業技術の向上もみられ、自分の仕事に自信を持ち、最後まできちんと作業を行える毎日になっています。「フォーラムカフェ クルール」も、催事開催の平日営業を継続でき、新しいメニューに軽食を加えることができ、利用者の士気も高くなり、工賃増にも繋がりました。

今後は市教育委員会・社会教育課、アートフォーラム責任者との協議の機会を持ち、更なる収入増に繋げる為、メニューの開発に向けて努力してまいります。

平成26年度末までに障がい福祉サービスを利用している方々のサービス等利用計画も更新時期を目処に順次作成されました。計画作成事業所の相談支援専門員が作成したサービス等計画書を基に、就労支援の個別支援計画書を作成し、利用者の持つ能力を十分に発揮し、自立した生活や、社会参加の機会が増えるように、関わる福祉サービス事業所、行政との調整・連携が今まで以上に求められ、専門知識も要求させることとなるでしょう。

就労継続支援B型事業と共同生活介護・共同生活援助事業ともに、職員は情報を共有し、制度に沿った適切な福祉サービスを提供できるように、今後も努力を怠らないようにしなければならないと考えます。

年 間 業 務 及 び 行 事

月	内 容
4月	お花見と食事会(インフルエンザ流行にて外出を控え中止) お寿司の出前
	イオン三川黄色いレシートキャンペーン活動
	喫茶クルール新年度打合せ アートフォーラム
5月	映画鑑賞 まちキネ
	実習受け入れ(鶴岡養護学校・高等養護学校)
6月	調理実習 お米のとぎ方・カレー作り 出羽庄内キッチンにて
	避難訓練 デイサービス・共生ホーム合同
	実習受け入れ(鶴岡養護学校・鶴岡高等養護学校)
7月	イオン三川黄色いレシートキャンペーン活動
	よつばの里・本三北部町内会合同夏祭り
8月	「共生社会を創る愛の基金」シンポジウム「罪に問われた障がい者」の支援の現状「累犯障がい者」を知っていますか。
	平成26年度障がい者虐待防止・権利擁護研修
	社会福祉施設ケアリーダー研修
9月	障害者スポーツレクリエーション大会
	アビリンピック参加
	ぶどう狩り&芋煮会
10月	鶴岡地区通所施設協議会研修・職員交流会
	加茂水族館見学と回転すしでの食事会
	実習生受け入れ 鶴岡養護学校高等部
11月	自立支援協議会研修会
	実習生受け入れ 鶴岡養護学校高等部
12月	よつばの里YYパーティー
	健康診断
1月	新年の抱負 ・ 温泉で新年会「温海 寿海荘」
	障がい児・者とのコミュニケーション技術研修会
2月	節分・豆まき
	荘内教会保育園との交流会
3月	鶴岡養護学校卒業式
	個別支援計画作成および運用に関する研修会
	障害者自立支援協議会情報交換会

生 産 活 動 一 覧

パソコン事業部門

作業内容	受注先	備考
年賀状作成	よつばの里本部事務局・利用者・職員	
名刺作成	鶴岡市役所・鶴岡市社協 他	
プログラム・チラシ作成	よつばの里	
文書作成	よつばの里	

受託事業部門 1

作業内容	受注先	備考
箱折り（菓子箱）	(有)茶勘製菓	H19.03より
箱折り（菓子箱）	(株)清川屋	H19.03より
菓子箱管理・発送	(株)清川屋	H19.03より
商品シール貼り	(株)清川屋	H19.03より
紙袋取っ手取り付け	(有)佐藤紙工産業	H19.03より
クルミの実取り	山菜卸問屋 遠藤商店	H20.02より
工業用ブラシ部品加工	高島産業 株式会社	H20.06より
自動車部品ソケット	オーエス電装	H27.06より

受託事業部門 2

作業内容	受注先	備考
清掃作業	鶴岡市社会福祉協議会	
草取り作業	鶴岡市 福祉課	H19.07より
清掃作業	共生ホーム「よつばの里」	H21.05.25より
リネン交換作業	共生ホーム「よつばの里」	H21.08.04より
利用者お世話	共生ホーム「よつばの里」	H21.08.04より

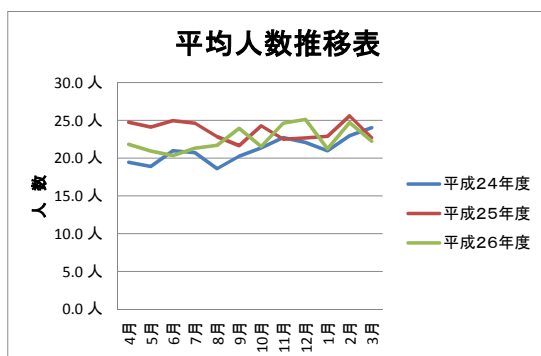
喫茶事業部門

作業内容	受注先	備考
フォーラムカフェ クール運営	アートフォーラム	H19.09.01より

利 用 者 状 況 表

平成27年3月31日 現在

月	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	開設日数	延利用者	平均利用者/日	開設日数	延利用者	平均利用者/日	開設日数	延利用者	平均利用者/日
4	20	389	19.5人	21	520	24.8人	21	459	21.9人
5	23	435	18.9人	23	555	24.1人	22	461	21.0人
6	21	441	21.0人	20	499	25.0人	22	448	20.4人
7	21	435	20.7人	23	567	24.7人	23	491	21.3人
8	23	428	18.6人	22	503	22.9人	23	499	21.7人
9	19	385	20.3人	22	477	21.7人	22	527	24.0人
10	22	470	21.4人	23	559	24.3人	23	495	21.5人
11	21	477	22.7人	19	428	22.5人	22	542	24.6人
12	19	420	22.1人	20	454	22.7人	23	578	25.1人
1	19	399	21.0人	19	435	22.9人	23	489	21.3人
2	19	437	23.0人	20	512	25.6人	20	494	24.7人
3	20	481	24.1人	21	477	22.7人	22	490	22.3人
計	247	5,197	21.0人	253	5,986	23.7人	266	5,973	22.5人



	平成24年度	平成25年度	平成26年度
4月	19.5人	24.8人	21.9人
5月	18.9人	24.1人	21.0人
6月	21.0人	25.0人	20.4人
7月	20.7人	24.7人	21.3人
8月	18.6人	22.9人	21.7人
9月	20.3人	21.7人	24.0人
10月	21.4人	24.3人	21.5人
11月	22.7人	22.5人	24.6人
12月	22.1人	22.7人	25.1人
1月	21.0人	22.9人	21.3人
2月	23.0人	25.6人	24.7人
3月	24.1人	22.7人	22.3人